

'81 JAPAN ROAD RACE GRAND PRIX

公 式 プ ロ グ ラ ム

- ★期日：4月18日(土)～19日(日)
- ★会場：鈴鹿サーキット
- ★主催：日本モーターサイクル協会(MFJ)
- ★後援：文部省・三重県・鈴鹿市

国際格式

'81 全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦

第18回 **ロードレース日本GP**



第8レース

国際B級500ccクラス 国際A級500ccクラス

●4月19日14時50分スタート●17周
●これまでの最高ラップ記録(国際A級500cc)2分14秒05(54年9月9日、日本GP、金谷秀夫選手)

クラス	ゼッケン	ライダー	年齢	県名	クラブ	車名(ネーミング)/銘柄・型式
国際B級500cc	50	岡本 静 慈	25	京都	K.G.ハングリーライダーズ	Kan's スペシャル/Y-T Z500
国際A級500cc	1	鈴木 修	27	愛知	ブレイメイトレーシングチーム	プロショップ高井スペシャル/Y-T Z500
	2	金谷 秀夫	36	兵庫	チームカナヤ	Y-Y ZR500
	3	高井 幾次郎	34	愛知	ブレイメイトレーシングチーム	Y-Y ZR500
	5	毛利 良一	31	兵庫	チームカナヤ	セキミズスペシャル/Y-T Z500
	8	水谷 勝	31	愛知	東海スポーツライダーズ	S-R G1500
	12	木山 賢悟	28	三重	チームRSC	H-NR500
	15	杉本 五十洋	31	京都	マックウェスタン	マックバルボリン/S-R G500
	18	石川 岩男	25	東京	フライングドルフィン	S-R G1500
	20	上野 真一	29	京都	Team Racing Sports	Y-T Z500
	22	斎藤 三夫	26	茨城	Big boy	タカハシタイヤSPL/Y-T Z500
	23	岩崎 勝	31	静岡	チームタイタン	S-R G1500
	28	木下 恵司	24	愛知	ブレイメイトレーシングチーム	Y-T Z500
	45	五味 安彦	28	栃木	荘レーシングチーム	マックバルボリンI/Y-T Z500
	47	吉見 卓	22	京都	マックウェスタン	セキミズスペシャル/Y-T Z500
	62	平 忠彦	24	神奈川	スポーツライダーズ	Y-T Z500
	66	酒井 博章	29	福岡	Weekend Riders	S-R G500
	86	酒井 清孝	25	東京	荘レーシングチーム	一龍軒TZ/Y-T Z500
	87	森田 隆	23	三重	個人	南海ミチハラSAK/S-R G500
	88	伊藤 巧	24	兵庫	レディーバード R.T.	Y-T Z500
	90	黒田 寛人	24	三重	ワンダーラビットレーシングチーム	Y-T Z500
	93	徳野 博	26	大阪	浜寺レーシングC	Y-T Z500
	95	草間 郁夫	27	茨城		アトムSPL/Y-T Z500
	102	種 渡 治	24	奈良	スターズ	ミラージュTZ/Y-T Z500
108	早坂 賢二	29	東京	アラオカレーシング	Y-T Z500	
115	馬場 勝巳	23	滋賀	スターズ	Y-T Z500H	
116	浦 正勝	26	大阪	スターズ	Y-T Z500	
120	岡本 一	22	大阪	月本レーシングチーム	月本ヤマハ/Y-T Z500	
121	垣内 清孝	21	大阪	スターズ	ミラージュスズキRG500/S-R G500	
123	斎藤 仁	23	神奈川	チームホライゾン	ホライゾンヤマハ/Y-T Z500	

(車名欄：H=ホンダ、Y=ヤマハ、S=スズキ、K=カワサキ)

世界のすぐれたパーツを君に!!
オリジナル&レーシングパーツからストリートパーツ・オート用品に至るまで

Z PARTS

スカーガス日本総代理店

KATAYAMA INTERNATIONAL

guarantee by Takazumi Katayama

Z パーツ 芦屋 芦屋市東芦屋町165

0797-32-8848

Z オート 西宮 0798-46-4444

自然したドラマの立役者たち 栄冠は誰に?!



①鈴木 修

(ブレイムイトレーシングチーム)

昭和28年8月17日生 中部
'77年全日本350チャンピオン
'78年同2位 '79年同5位 '80年全日本500チャンピオン
'81年全日本第2戦優勝

●500cc1年目にしてチャンピオンとなり天才ぶりを発揮
温和な性格とは裏腹にレースでは激しいファイトをみせる
今シーズンも絶好調そのものの初戦で非常に良い優勝を飾り2年連続チャンピオンを目指す
GPではワークス勢にどこまで喰い込んで行くか非常に注目される
マシンはTZ500。



②金谷 秀夫

(チームカナヤ)

昭和20年2月3日生 関西
'71年日本GP優勝 '77年日本GP優勝 '77年TBCビッグロード優勝 '78年オーストラリアGP優勝 '78年日本GP2位 '79年日本GP優勝

●10年以上にわたり日本ロード界をリードしてきたベテランライダー ヤマハYZR開発に当る一方、チームカナヤの会長として若手ライダー育成に余念がない
海外レース経験も多く世界的に高い評価を受け 前回はブラクティスでクラッシュ 2分14秒05のラップレコードを持つ。



③高井 幾次郎

(ブレイムイトレーシングチーム)

昭和22年2月16日生 中部
'74年日本GP優勝 '76年日本GP優勝 全日本チャンピオン '78年日本GP優勝 '80年TBCビッグロード優勝 '80年日本GP優勝

●イタさんの愛称で人気も高く実力もナンバー1 日本GPでの優勝回数も多くGPには欠かせない顔 小柄な身体を駆使した豪快なライディングは芸術品 最近ではライダー用品の開発・販売でもおなじみ ヤマハファクトリーの主顧 マシンはちみんヤマハYZR500。



⑤毛利 良一

(チームカナヤ)

昭和24年10月31日生 関西
'72年ジュニア125チャンピオン '74年日本GP125優勝 '76年日本GP250優勝 '76年全日本250チャンピオン '77年全日本チャンピオン '80年500cc3位

●デビューして10年を超えるベテランライダー 味のある走りは常に若手ライダーをリード 日本を代表するトップライダーとして君臨、ファンも多い 今シーズンもすこぶる元気なチャンピオン争いを大いに盛り上げている ヤマハTZ500を駆る。



⑦河崎 裕之

(マウンテンライダーズ)

昭和20年10月31日生 中部
'70年全日本チャンピオン '78年全日本第1戦、第3戦、第5戦、第6戦優勝 '79年日本GP3位 '79年世界GP第2戦5位 '80年日本GP2位

●現役最古参のトップライダー 表面的な栄光が少ないのはスズキファクトリーとしての仕事から しかしRGガンマ開発になくてはならない存在 身体180cmの巨体を持ちシヤケさんの愛称で親しまれる 今シーズンは世界GP参戦のためヨーロッパへ マシンはスズキRGガンマ500。



⑧水谷 勝

(東海スポーツライダース)

昭和24年10月7日生 中部
'76年全日本ジュニア250チャンピオン '76年日本GPジュニア250優勝 '77年国際A級昇格 '79年日本GP2位 '79年全日本チャンピオン '80年日本GP3位 '80年全日本2位

●今年31歳を迎えるがA級5年の中堅ライダー '78年から頭角を表わし注目を集める昨年は惜しいところでランキング2位に終わった 今年スズキワークス入りを果たしチャンピオン奪還に燃える マシンはスズキRG500。

「グランプリを証するものは、シリーズチャンピオンの最短距離にある。」
とまでいわれる81GPだ。
このグランプリの栄光をめざすトップライダーの熱い走りは、
キミたちをエキサイトさせずにはおかない。
彼らこそ、日本を代表するライダー。
自然のドラマの立役者なのだ。スズキはゼッケン。